

「ベガルタ仙台」への7つの提言

(2003年12月22日)

	はじめに	1
1	クラブコンセプトの確立	2
2	財務内容の改善	3
3	ホームタウン活動の強化	4
4	業務運営体制の整備	5
5	集客力の維持	6
6	情報公開の徹底	7
7	サポーターとの意見交換及びファンサービスの充実	8

○付属資料

- 1 「全国ホームタウンサミット in 仙台」での協議を基にした提言
 - ①総合型地域スポーツクラブをめざして 1 1
 - ②ベガルタウン活動の強化に関する提言 1 5
 - ③サポート組織との連携に関する提言 2 5
- 2 「全国ホームタウンサミット in 仙台」分科会報告 (添付省略)
 - 全国ホームタウンサミット分科会報告 2 8～3 6

ベガルタ仙台・市民後援会

はじめに

◇ 私たちの誇り「ベガルタ仙台」は、残念ながらＪ１残留を果たすことができず、来季「捲土重来」を期して新たなスタートを切ることになります。

初めてＪ１昇格を果たした時と比較して、県民の支援意識の高揚や協賛企業の確保等、極めて厳しい環境におかれることが必至と推測されます。

しかし、こうした時期にこそ、Ｊ１というスポットライトに隠れて良く見えなかった問題点や、残留争いという状況の中で後回しにされてきた問題点等について、地に足をつけて見直し、ベガルタ仙台がこの地にある意味をより深く理解していただく好機と考えることもできます。

市民後援会では、クラブの成長を願って「７つの提言」をまとめました。

中長期の課題を含めたものですから、全てが即日に改善できるものではありませんが、この提言を受けて「動きだし」を早く行うことを期待しています。

市民後援会もクラブの「パートナー」として一緒に、考え行動していきたいと思っています。

◇ 付属資料の「提言」は、さる９月２０日～２１日に仙台市において開催した「全国ホームタウンサミットｉｎ仙台」における検討事項をもとにまとめたものです。今回の「７つの提言」と合わせて検討いただけることを期待しています。

◇ なお、チームに対する提言については、既に監督や選手会等からの要望があると聞きますので今回は省略してあります。

「ベガルタ仙台」への7つの提言

1 クラブコンセプトの確立

地域にクラブが存在する意味を「クラブコンセプト（球団理念）」として表明し、ひとつひとつの施策がなぜ必要なのかを明確に説明できる体制とし、また活動の支援を仰ぐ際の説明能力の向上を図る必要があると思います。

東北ハンドレッドに望むこと	市民後援会としての対応
(問題点) ・ クラブの球団理念が明確に表明されていないため、長期的なビジョンや当面の行動指針等が立てられないでいる。 ・ この結果、地域住民・ファンへの対応及びマスコミ対応等に一貫性がなくなっている。 ・ 今後、対応が必要となってくる総合型地域スポーツクラブへの対応、Ｊリーグアカデミーの運営等、地域との協働が必要となる複雑な施策・作業の具体化への道筋が見えていない。 ・ 協賛スポンサーに対しても、クラブを支援する意味が十分に伝わっていない懸念がある。 (改善方策) ・ クラブ、後援会、ボランティア、有識者らを中心にクラブコンセプトの策定作業を行う。 ・ 策定に当たっては、P I 方式をとり、広く市民に周知し意見を収集する。 ・ １年程度をめどにクラブコンセプトを策定し、長期計画を策定するとともに、今後の中期計画や各種施策策定の判断基準とする。	・ 各クラブにアンケート調査を行い、クラブコンセプトの策定状況・策定経緯等の情報収集。 ・ 講座ベガルタを通じたP I 方式実施への協力。

2 財務内容の改善

累積欠損金の早期解消を図り、財務体質の改善を図ることにより、企業協賛及び市民募金等の協力を得られやすいようにすべきと考えます。

東北ハンドレッドに望むこと	市民後援会としての対応
(問題点) - 経営努力により単年度黒字を達成しても、累積欠損金（いわゆる「累積赤字」）の償却に使われており、協賛金やファンの募金が、結果として「赤字の穴埋めに使われている」かのような印象を与えている。 その結果、協賛及び募金の意欲を削いでいるのではないか。 (改善方策) - 早急に減資を含めた対応をとり、健全資本の構築を図る。 なお、減資については、宮城県が15年10月末に発表した「公社等外郭団体改革計画」において、県としての考え方として「たとえば減資による累積欠損金の解消などについて助言を行う。」と記載されており、筆頭株主がその方向性を示していることを付言する。	減資に対する市民の理解を得るため、チラシ等による周知活動及び講座「ベガルタ」（偶数月開催）等による勉強会等を開催する。

3 ホームタウン活動の強化

地域との結びつきを強化するため、ホームタウン部の再設置を行い、地域の意見・要望を大切に聴取し、クラブ経営に役立てるひつようがあると考えます。そのことにより、総合型地域スポーツクラブ実現等の道筋が明確になってくるものと思われま

東北ハンドレッドに望むこと	市民後援会としての対応
(問題点) ・ Jリーグが他のスポーツと大きく異なるのは、その活動拠点をホームタウンと位置づけ、スポーツを通じて地域と共に成長したいという理念を持っていることである。 ベガルタ仙台は、過去にホームタウン推進部をもち、地域の意見を積極的に聞こうとした時期もあったが、その後は部の廃止に伴い、活発な活動を行ってきておらず、Jリーグの掲げる理念から離れてきている。 ・ Jリーグの理念（百年構想）を実行する組織が脆弱となっている。 ・ 仙台スタジアムのある泉区中心部の商店街等からは「もっとハンドレッドの社員が各事業所、店舗を回りベガルタへの支援依頼とベガルタを活用したビジネスの話し合いなどを活発化すべきだ」等の声が上がっている。 こうした要望に応えきれないでいることにより、協賛金の確保及びベガルタへのアイデア聴取のチャンスを失っているのではないか。 ・ Jリーグの方針により選手のボランティア活動への参加を義務づけられているが、ベガルタ仙台としては必ずしも十分な参加となっていないのではないか。 トップアスリートとして尊敬される社会人であるべきとの観点でみても改善が必要と思われる。 (改善方策) ・ ホームタウン推進部を再設置する。 ・ クラブハウスを核として周辺道路の美化活動や周辺商店街活性化への協力を行う。 ・ Jリーグアカデミーを開設する。 ・ 総合型地域スポーツクラブへの構想を明らかにして、具体策を地域の協力を得て行う。 ・ 定期的なホームタウン内企業訪問及び意見交換会を開催し、ベガルタへの理解促進と協賛企業確保の契機とする。 ・ 若手選手を中心に、地域のボランティア活動に積極的に参加し、地域と一体となった活動を通じて選手教育にもつなげることとする。	・ 「講座ベガルタ」を「出前講座」として県内各地で開催し、意見交換の場づくりを行う。 ・ 泉中央駅～クラブハウスま、でを通称「ベガルタ通り」とし、ベガルタフラッグの設置や、フラワーポットによる花企画を実施する。 ・ 総合型地域スポーツクラブ実現への提言は別紙のとおり。 ・ 選手のボランティア活動先を紹介するとともに、協働でボランティア活動を行う。

4 業務運営体制の整備

フロントスタッフの限られた人的資源を有効活用できるよう、能力向上のための研修等を行う他、フロントスタッフの増員、人的な配置の見直し等が必要と考えます。

東北ハンドレッドに望むこと	市民後援会としての対応
(問題点) ・ Jリーグの理念や他クラブの動向等事業の基本的な知識、接遇等のイベント業としての能力向上について常に研鑽を積む体制とする必要があると思うが、十分な体制になっていないと思われる。 ・ フロントスタッフの増員、人的な配置の見直しを含め、適正なスタッフ配置が必要と思われる。 ・ 一方、小さな組織でありながら横の連絡がとれていない事例が散見されるため、連絡体制の見直し等も必要。 ・ 前述のとおり、ホームタウン活動強化のためのセクションが必要と考える。 ・ ファンクラブ活動の位置づけが明確でなく、単に情報誌配布とグッズ特典程度の意味合いになっていることには問題がある。 情報誌の発行体制の見直しも含めて、クラブコンセプト全体の中でどういう位置づけで活動を行っていくのか見直す必要がある。 (改善方策) ・ 自己啓発も含め、個々の能力向上につながる研修、部外会議への参加等を積極的に行う。 ・ ホームタウン推進部の設置の他、ホームタウン推進業務及び運営ボランティア業務の思い切ったアウトソーシングの実施。 ・ ファンクラブ活動の予算をクラブから切り離し、予算使用状況を明確にする。 ファンクラブ運営にファン・サポーターも参加していただける体制づくりを行う。	・ ホームタウン推進部への活動支援 ・ クラブコンセプトの策定に関連して、ファンクラブのコンセプトも確立していく。 ・ ファンクラブ運営への部分的な協力を行う。

5 集客力の維持

経営基盤安定のために、J 2リーグにあってもこれまでの集客力を維持する必要があります。このため、これまで実施してこなかった新たな企画等の実施が必要と考えます。

東北ハンドレッドに望むこと	市民後援会としての対応
(問題点) - 経営基盤を安定させるためには、J 2リーグにおいても、スタジアムを満員にする集客力を維持する必要があるが、2003年シーズンの宮城スタジアムの集客力（実質3万人程度）をみる限り、極めて不安が大きい。 (改善方策) - 来季スタート3試合程度は、絶対に満員のスタジアムとするための危機管理体制を布く。 - 毎試合に何かしらのイベントを実施すると共に、試合観戦数に応じて特典を設定する等、リピート観戦率を高める。 - 試合名に「〇〇町マッチ」等の冠をつけて、スタジアム内で物産展を行う等し、仙台市以外の観戦者の増強を図る。 - 市交通局の協力を得て、「地下鉄&観戦切符」等の割引切符を発売し、価格据置にした入場料金の実質引き下げも図る。	「開幕+1キャンペーン」の実施。（友人知人をもう一人つれて来よう！） - 毎試合イベントの実施 試合ごとに何かイベントを実施している状態に。 - 支部活動の強化。 県内各地に支部設置の展開を強化し、観客の広がりへの支援とする。

6 情報公開の徹底

多くのファン・サポーターがクラブ情報をホームページから得ている状況を踏まえ、その情報量の増加、情報発信タイミングのスピードアップが必要と考えます。

東北ハンドレッドに望むこと	市民後援会としての対応
(問題点) ・ クラブの活動理念、経営目標、財務状況等についての情報公開が不足している。 ・ クラブは、HPの開設後、情報量の増大やインターネットメールによる意見受付等改善に努めてきているところであるが、試合結果の速報等が対戦相手クラブのスピードと比べ大幅に遅いことや、メールでの意見に対して、回答を行っていないため、ファン・サポーターの間でも不評となっている。 (改善方策) ・ 公式HPを活用して、経営状況等について積極的な広報活動を行っていくことにより、より市民に親しまれるクラブづくりが行える。 ・ HPのデータ更新について、細かなタイミングを含めた委託契約を行う。 ・ インターネットメールでの質問事項については、「よくある質問」を抽出し、HP上にQ&A集として掲載していく。	・ 他クラブの情報公開状況を収集し、公式HPの活用状況等を調査する。 ・ HPのデータ更新がしにくい日曜日の更新作業等については、市民後援会がバックアップする。 ・ 「よくある質問」の抽出、回答集作成を市民後援会で行う。

7 サポーターとの意見交換及びファンサービスの充実

市民球団として、ファン・サポーターとのコミュニケーションを大切にするため、定期の意見交換会をオープンに開催することや、ファン交流・グッズ販売等のチャネルを積極的に活用する必要があると考えます。

(1) ファン・サポーターとのコミュニケーションの改善

東北ハンドレッドに望むこと	市民後援会としての対応
(問題点) - 東北ハンドレッドは、市民後援会との毎月の定例打合せ会や、インターネットメールを通じ、ファン・サポーターの意見を確認する努力を行ってきている。 しかし、広く一般の意見を聞く場としては、人数制限のある「サポーター集会」を臨時で開催するのみで、ファン・サポーターの間にも不満があるものと思われる。 市民球団を標榜するクラブとして、広く意見を聞く努力が必要である。 (改善方策) - 数百人規模のファン・サポーター集会を定期開催する。 開催時期：シーズン前、シーズン中盤、シーズン後の3回を定期開催とする。 出席者：フロント幹部及び監督・コーチ	- 他クラブの開催方法・意見募集方法等の情報収集 - 開催の支援

(2) ベガッ太サロンの活用強化

東北ハンドレッドに望むこと	市民後援会としての対応
(問題点) 「ベガッ太サロン」の活用方針が不十分なためせつかくのスペースが「交流の場」という本来の目的どおりに活用しきれていない。 また、利用可能時間の周知が不十分である。 (改善方策) 「ベガッ太サロン」を「ベガッ太の家」というコンセプトで飾りつけを行い、そこを訪問するファンをベガッ太のゲストという位置づけで	- 後援会として「ベガッ太サロン・ハウスキーパースタッフ」を組織し、季節に応じた飾り付けを担当する。 - ファンレター受付ボックス管理及び情報物の作成を行う。 - 引き続き、トップチーム不

雰囲気づくりを行う。 ・ 季節に応じた飾り付けを予算化する。 ・ 選手へのファンレター受付ボックスを設置する。 ・ チームスケジュール等を掲示板を使い情報発信する。	在時のベガッ太サロンの鍵の開閉を行う。
---	----------------------------

(3) グッズ販売チャネルの拡大等

東北ハンドレッドに望むこと	市民後援会としての対応
(問題点) ・ 11月16日に行ったスタジアムアンケートでも、市内中心部でグッズ購入ができないことへの不満意見が多くあった。 ・ グッズ販売収入は事業収入の大きな柱になっており、ビジネスチャンスを失っていることはクラブ経営にとって大きな痛手と考える (改善方策) ・ 仙台駅周辺等、市中心部へのオフィシャルグッズショップの展開を行う。 人件費等の負担を削減するために、運営委託を含めて検討する。 ・ 練習日に「ベガッ太サロン」でグッズ販売を行う。	・ ベガッ太サロンでのグッズ販売等をボランティアとして行う。